

平成29年度 第 9 回教育委員会定例会

議決事項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第28号 平成29年度垂水市一般会計補正予算（第5号）案についての市長への意見申出について</p>	<p>平成29年度垂水市一般会計補正予算（第5号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第21号 平成30年度垂水市一般会計当初予算要求について</p>	<p>平成30年度当初予算案の作成について、教育委員会の意見を申し出ようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

平成29年度 第 9 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成29年12月11日（月）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時54分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 坂元 裕人</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 池松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成29年度第9回教育委員会定例会を開会した。
議案第21号は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成29年度第8回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第28号 平成29年度垂水市一般会計補正予算（第5号）案についての市長への
意見申出について
議案第21号 平成30年度垂水市一般会計当初予算要求について

4 その他

なし

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	報告第 28 号 平成 29 年度垂水市一般会計補正予算（第 5 号）案についての市長への意見申出について
教育総務課長	平成 29 年度垂水市一般会計補正予算（第 5 号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。
野村委員	給食甲子園は毎年開催されるか。
学校教育課長	毎年開催されている。今年で 12 回目だ。2025 の献立の応募があり、その内の 12 に入った。九州から 2 県、第 4 次審査までいった。
野村委員	九州から 2 県とはすごい。
学校教育課長	もう一つは佐賀県だ。本市はブリを使った献立だ。
野村委員	それを評価してもらうのか。結果は。
学校教育課長	先週 2 日、3 日で行われたが、結果は入選だった。
野村委員	出ることが一つの評価だ。
学校教育課長	出るのが大変だ。
	議案第 21 号 平成 30 年度垂水市一般会計当初予算要求について (非公開)
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長の報告に入る。
野村委員	1. 「垂水市地区公民館経営研究会について」 11月26日（日）垂水市地区公民館経営研究会に出席した。「地域の特性を伸ばす公民館の取り組み」が、2年間にわたる市全体の研究テーマであった。市内各公民館の取り組みが紙上発表されていたが、どの地区の取り組みも、過疎化・高齢化の中で大変な工夫努力をされている姿がある。そ

れぞれの実践活動のベースになっているものは、地域の人達が気安く集まり、そして皆で語り、互いに助け合うといったふれあいの中から、地域が一体となるような大きな力、まとまりが生まれてくる。これが、公民館活動の大事な役割なのだという事だ。

ある意味、理想的な在り方かも知れないが、市内の各地域の皆さんが公民館活動の最上の在り方として、このような気持ちのつながり、助け合いの精神の場を求めていらっしゃるのだということがよくわかった。

そしてまた、大野地区の事例発表は圧巻であった。平成28年度農林水産祭の「むらづくり部門」において、内閣総理大臣賞を受賞という輝かしい栄冠にいたるまでの活動の概略をつぶさに追ったものでもあった。

受賞時のタイトルが「開拓魂で未来を拓く、住民総活躍のむらづくり」であったと分かり、大正3年の桜島大噴火による大野地区入植100余年の苦難の歴史が偲ばれ、ずっしりとした重い感動を覚えた。

また、研究発表が終わっても、時間が足りない。もっと時間があれば、まだまだ大野地区の皆さんの気持ちを伝えられるのだが残念だと語られる公民館長の前田清輝氏の気迫に満ちた熱弁が、現在の地域の皆さんの情熱をそのまま伝えているのだと思われた。

田原委員

1. 「生活笑楽校について」

公民館活動の話が出たが、昨日私共は生活笑楽校、「笑楽校は笑い楽しむ校と書いて笑楽校」だが、何か一品持ち寄って、それをみんなで食べて、飲んで共に語ろうという会で、今年で開校6年になる。来年は中学生だ。今の大野の話とは逆で、参加者が横ばいか少しずつ減ってきている。来てくださる方はずっと来てくださる。新しく入るといふ人達がいなくて、というのは、役員が1年交代なので、来年はよかった。次は誰だ。ずっとながっていかない。なかなか来てもらえず、一緒に語ってすれば、本当にいい会だとなる。参加者が増えない。公民館に私達は何を望むのではなく、まず、仲間で、老人会とか仲間で、集落で、または公民館で何をしたいか語ろうかと語る会を持った。その中で、集落でコスモスをもっと広げたいとか、そういう前向きな部分も出るし、公民館としてもっと啓発しないといけないとか、学校関係では、私が教育委員であることを知っているので、ある方が、「孫の長距離走大会があって、応援に行ったが、スタートに並んで出発させたが、その前の準備運動があれば長距離走では足りない。長距離走というのは、アップをさせたりして、身体が温まってから走らないと、すぐに腹が痛くなったり、不調をきたしたりするのではないか。」と代弁、伝えてくれないかということだった。ちなみに、その方は元体育の先生だった。自分がする頃にはそうしていたのになあということだと思いが、「準備運動をしっかりやれば、もっといい活動になるよ。」ということだったので、「それなら、明日報告します。」と話すことだった。

中谷委員

1. 「柘原小学校学習発表会について」

11月11日、柘原小学校において学習発表会があった。保護者はもとより地域の皆さんがたくさん集ってくださった。発表は、ひとりひとりの頑張りがよくわかった。その時の子供の詩が南日本新聞に掲載されたので報告

する。

学習発表会

学習発表会があった
一番前で お母さんが見ている
妹が 見ている
弟が 見ている
とび箱 うまくとべた
なわとび うまくとべた
詩のあん唱 声が小さくなった
歌 声が小さくなった
妹弟が しんけんに見ている

これは、たくさんの兄弟の中で育てているお子さんの詩だ。この詩で、
柘原小学校12名全員が新聞に載ったそうだ。校長先生はじめ諸先生方の一
生懸命の取り組みが子供達の力になり嬉しい。

葛迫委員

1. 「第3回サンタとあそぼークリスマス会について」

12月3日(日)「サンタとあそぼークリスマス会」に参加した。

今年で3回目を迎えたこのクリスマス会だが、幼児から小学生低学年を
中心にその親御さん達160名程、スタッフを加えると200名を超える方々が
アザレアに集合した。ちょうどこの日は、「大野原いきいき祭りや千本イ
チョウ祭り」と重なり、アザレアは大変な賑わいだった。垂水市の市街地
から大野地区に駆け上がる、縦の交通道は渋滞を余儀なくされたのではと
思うところだった。

「サンタとあそぼークリスマス会」は、垂水小学校の金管バンド演奏会、
サンタの素敵なプレゼント、軽食会、マジックショー、バルーンパフォー
マンス、そしてお絵かき大会の表彰式が演目としてあり、私は、このお絵
かき大会の表彰式と審査に呼ばれたということだ。

3回目ともなると、子供達の絵に対する考え方や実力の方もかなり変化
してきていると思った。はじめは、鉛筆だけで描いて持ってくる子やサン
タだけを描いてくる子などが多かったが、今回は、サンタを中心に自分の
思いや心象を入れてくる子が目立ち、毎回の講評が生かせていると感じる
ところだ。絵画は、子供達の心の扉として「何を思い、感じ、そして葛藤
や不安など」、温かく見守っていければと思っている。

教育長

1. 「おもてなし少女・少年隊の解団式について」

11月25日おもてなし少女・少年隊の解団式があった。今年度は24名で活
動していたが、特に男の子の参加が少ない中で、中学生、高校生は海元君
にリーダーをしてもらっていたが、10数名で解団式を行った。

その中で私は、「おもてなしについては3つの要素が大事だ」と話して
いたところだ。1つは、表情、笑顔、2つ目は、言葉かけ、どんな言葉を
かけると相手がおもてなしの気持ちでとなるのかと、具体的な子供達の言
葉を紹介しながら話をした。3点目は、行動、この3つでもって、しっか

りおもてなしができたのではないかなと参加した子供達を褒めることだった。また合わせて、来年も参加を促して、とりわけ、中学生の男子、そして高校生は引き続きお願いしますねと約束したところだ。32年の国体に向けて、最終的には50名を考えている。それを持っておもてなしができればと考えている。子供達の力というものは大きなものがある。是非来年も力を借りて、いろんな行事で市民、市外から来られた方をおもてなしできればいいと思っている。

2. 「地区の公民館活動について」

地区の公民館活動の中で印象的だったのが、協和地区の赤ちゃん相撲、私は感動した。市内在住の方々だけでなく、市外在住の方々も帰って来て参加されるということをお伺いして、やはり、地元をいつまでも忘れずに大事に思ってください、それがやがては帰って行こうという気持ちにつながっていくのかなと思いつながりながら参加させてもらった。その日は非常に寒い日だった。午後からは、新城地区の公民館活動に参加した。地区との交流ということで、牛根地区のひょっこり舞踊が披露されて、新城地区でも大喝采だった。そこには、文化教養部長、面白い方がいらっしゃった。あの方が、ムードメーカーというか、それぞれの地区にはそういう方がいらっしゃると思いつながりながら、いいムードの中で過ごさせてもらった。城山学園との交流もなさっている。これも素晴らしいなと思った。先程から、野村委員、田原委員から公民館の話が出ているが、垂水はどの地区をとっても、なくてはならない存在なんだなと思うことだった。公民館活動の高齢化がだいぶ言われているが、40代、50代の人達も引っ張り出しながら、いい活動ができたと思うことだった。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

11月11日から12月11日までの主な行事等について報告。
併せて、1月10日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会